

# 議会だより

行政報告など.....	2~3
町政のそこが聞きたい.....	4
一般質問.....	5~7
委員会の動き.....	8~9
研修会などの報告.....	10~11



400人が楽しんだビールパーティー



ふれあい野球教室



ファイターズOB森本稀哲さんも参加の少年野球教室



高齢者施設でのふれあい



川北こども園 (にじいろ) でのふれあい



標津こども園 (あおぞら) でのふれあい

## 日本ハムファイターズ標津町後援会

〔ファイターズによるスポーツイベント 5月25日~5月27日〕

会長 今野 千昭      会員数 84名  
会費 年間4,600円

発行 / 北海道標津町議会

編集 / 広報特別委員会

# 町立へき地保育園 (古多糠・茶志骨地区)が閉園

平成30年6月第2回定例会  
(平成30年6月20日)

山崎教育長の行政報告

## 日本遺産申 請審査結果

昨年来、標津町が事務局となり根室管内1市4町と協議を重ねながら「根室管内のメナシを継ぐ人々の物語」を文化庁に申請していたところであるが、新聞報道等でご承知のとおり、去る5月24日に平成30年度の認定結果が公表され、残念ながら、根室管内の申請は認定には至らなかった。日本遺産の制度は、地域の歴史的資源を活用した観光地域づくりのためのもので、平成27年、西暦2015年からスタートし、東京五輪・パラリンピックが開催される2020年までの6年間で、100件程度が認定されることとなっており、

本年までの4年間で、43道府県の計67件が認定された。

今後については、審査委員会での評価内容などを踏まえ、申請内容に関するストーリーの方向性や、実施体制に関しての見直しを含め、管内各市町との協議を行いながら、再申請する方向で検討していきたいと考えている。

## 町立へき地 保育園閉園

へき地保育園については、標津町の発展とともに各地域に設置されてきたが、現在では古多糠と茶志骨地区の計2園が残るのみとなっている。

この2園については、利用希望者の減少から休園を続けていたが、今後の利用者が見込ま

れないことから、それぞれの地域において説明会を開催し、平成30年3月末をもって閉園した。



古多糠地区保育園全景

これらは、人口減少や少子化のみならず、保護者ニーズから、園生活においては一定集団規模での活動を希望することや、小学校へのつながりなどを考慮して標津地区、又は川北地区の施設に入園を希望する保護者が増えたことも要因の一つと捉えているところである。

古多糠こぼと保育園については、昭和43年

に季節保育所として開所してから、休園となる平成24年3月までの4年間で255名が卒業し、茶志骨みどり保育園については、昭和47年に季節保育所として開所してから、休園となる平成26年3月までの42年間で180名が卒業している。



茶志骨地区保育園全景

これまで酪農地帯の発展とともに、へき地保育園の役割を果たしてきたが、今後は、標津・川北西地区のごども園の2園体制により、保育・教育の充実に努めていく。

## 意見書

○教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書

提出者  
**大垣 勇**議員

○教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

提出者  
**大垣 勇**議員

○2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者  
**山崎 英司**議員

○2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者  
**山崎 英司**議員

○中標津町への北海道立林業大学校設置に関する意見書

提出者  
**大垣 勇**議員

## 一般会計の補正予算

### 主なもの

(単位:千円)

項目	金額	内容
医療給付システム番号制度対応事業	462	北海道医療給付事業に係るレセプト併用化(レセプトの法別番号の設定)実施に伴うシステム改修費
北標津連合町内会館建設事業	1,882	北標津連合町内会館建設に係り支障となる倉庫の解体経費の工事費単価アップによる増額
住民自治活動推進費	124	川北連合町内会環境整備事業に使用の草刈機2台更新費への助成金
情報化推進事業	7,500	防災拠点等施設の公衆無線LAN環境整備支援事業(国庫補助事業)活用によるWi-Fi整備費
介護保険特別会計(事業勘定)繰出金	1,689	法改正による介護保険システム改修費分事務費繰出金の増額
畜産・酪農収益力強化整備等特別事業補助金	18,128	10月1日に新規就農を予定している者の施設整備(施設改修、乳牛導入)に対し、交付される道の間接補助金(JA標津地区畜産クラスター協議会が事業主体)
秋サケ等付加価値向上特別対策事業	10,400	秋サケ、ホタテ漁業等の振興のための付加価値向上対策 ①船上一本メ生産効率化推進事業生産に係る必要な機器の導入及び活メ用水経費に対する補助金 ③秋サケ等地場産品販売促進事業漁協が実施する秋サケ、ホタテ等の付加価値向上対策として販売促進に要した経費について助成(人件費を除く。)
漁業振興特別対策事業(栽培漁業振興事業)	710	標津漁協が負担するサケやホタテ等の栽培漁業の推進にかかる協議会等への負担金の3分の2を助成する。
LCC等就航に伴う広域連携観光事業負担金	200	関西国際空港と釧路空港を結ぶ路線にLCC(ピーチアビエーション)が就航することになったことから、広域連携により集客活動へ取り組む経費の負担金
講演会開催事業	307	防災講演会の講師の決定及び北海道市町村振興協会からの地域づくりセミナー開催支援金交付が決定したことによる経費の増額
標津小学校ブランコ新設工事	3,273	児童数に比して不足している標津小学校の遊具として4人乗りブランコを設置する。 ※指定寄附(個人1件3,000千円)の活用
職員人件費	3,476	平成17年度末に在職していた職員のうち、本来受けるべき号給に達していない格差のある職員の不均衡是正のための給料調整 (本年度調整対象者48名のうち一般会計37名分)
計	48,151	

# 一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいう。

# 町政のそこが聞きたい

平成30年第2回定例会(6月20日)で3議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

## 小川 悠治 議員

5ページ

### 北海道命名150年 歴史的な大舞台としての標津

- 眠れる歴史的資源を観光資源として活用を!
- 最新映像技術を駆使してインパクトのある観光客誘致対策を!
- 『北海道命名150年記念アイヌ民族文化祭』歴史的・教育的に大義あり…対応は?

### 北海道命名150年

参考

「蝦夷地」の本格的開拓に乗り出した明治新政府は、『五畿七道』の考えに則(のっと)り、「蝦夷地」の名称改正をする事になった。その新名称の候補を提案したのが、蝦夷地の探検家と知られ、開拓使の開拓判官(はんがん)に任命された松浦武四郎であった。その候補名は ①日高見道(ひだかみどう) ②北加伊道(ほっかいどう) ③北海道(かいほくどう) ④海島道(かいとうどう) ⑤東北道(とうほくどう) ⑥千島道(ちしまどう)の六つで、最終候補として残ったのが「北加伊道」であった。この「北加伊道」を七道の「東海道」「西海道」「南海道」に合わせて、「加伊」の文字を「海」と変えて「北海道」とした。それが、1869年(明治2年)8月15日の事であった。爾來、1世紀半の星霜を経て本年、「北海道命名150年」の佳節を迎えた。

## 南 憲 治 議員

6ページ

- 老朽化が激しい『北方領土館』今後の位置づけ・役割等、あり方を問う

### 『北方領土館』パンフレットより抜粋

**北方領土館**  
 所在地 北海道標津郡標津町北2条東1丁目1番14号  
 設置者 社団法人 北方領土復帰期成同盟  
 管理者 標津町  
 構造等 鉄骨造 2階建 総床面積330.00㎡  
 (1階160.88㎡)  
 (2階169.12㎡)  
 オープン 昭和54年12月3日(完成10月31日)



### 24<sup>時</sup>先の国後島を望む展望台



## 吉田 智 議員

7ページ

- 子供達を犯罪被害から守るために…『地域安全情報メール配信サービス』の導入を!
- 『しべつ健康ポイント事業』～対象事業に遺漏なき様に～
- 障害者差別解消法に準拠し、「分かりやすく伝える」ために『ユニバーサルデザイン書体【UD書体】』の採用を!



広報しべつ 5月号(表紙)

UD デジタル教科書体と各書体との比較



視認性・可読性を重視

- ①通常の教科書体よりも太さの強弱を迎え、エレメントもシンプル
- ②通常ゴシック体と比較して、手の動きを重視した書体



**老朽化が激しい「北方領土館」  
今後の位置づけ・役割等、あり方を問う**

**「当町における北方領土返還のシンボル」  
更新に向けて外務省・内閣府等に対して要請する**



南 憲治 議員

**問** 本町にある北方領土館は、昭和54年10月北方同盟（北方領土復帰期成同盟）が国費により建設、同年12月にオープン以降、標津町が受託管理している施設である。

標津町と根室振興局のホームページによると、海岸線に位置する施設で、北方領土の歴史や返還運動の歩み・産業・生活などの資料展示、展望台からは国後島が間近に見えると

説明されている。

建設場所、当時は最適であったと思われるが、既に39年が経過し老朽化が激しい事に加え、海岸には船舶の上架施設なども建築され、国後島が見えにくい等、周辺環境が大きく変化している。

標津町が北方領土館をどう位置付けし、役割等、今後のあり方について町長の見解を伺う。

**答** 指摘の通りいくつかの課題があるが、北方領土隣接地として、大きな存在であり、重要な役割であると思っている。

施設の更新について



船舶が密集すると眺望が遮られる

～展望室より国後島を望む～



～老朽化が激しい『北方領土館』の外観～



『終戦当時の国後全島鳥瞰図』



故障中の『北方領土啓発映像コーナー』

は、道や関係団体と協議しており、外務省や内閣府等に対して要請して行く。  
建設地についても、数ヶ所の候補地があり、検討している処である。



吉田 智 議員

**問** 別海町地域安全情報メール配信サービス『まもメール』では、子供達を犯罪被害から守るために、不審者情報や犯罪・事故の未然防止に役立つ情報をメールで登録者に一斉

北海道新聞

1面

平成30年5月9日(水曜日)付



悲惨な事件を報じる記事

参考資料1

ゴールデンウィーク明け早々『新潟で小2女児死遺体遺棄事件』の悲惨な事件報道

参考資料1



子供達を犯罪被害から守るために...

『地域安全情報メール配信サービス』の導入を!



既存の『情報伝達手段』の活用で対応可能

配信している。参考資料2  
導入を一考願う。

**答 副町長** 教育関係情報網(校務用PCネットワーク、メール配信やFAX送信等)、防災無線、町公式ツイッター等の既存の情報伝達手段を活用する事で対応可能である。

参考資料2

別海町『まもメール』の不審者情報の一例

【内容】

11月30日水14時30分頃、尾岱沼交差点(佐藤海産前交差点付近)において、1人で下校途中の男子児童(小2)が白い軽トラックに乗った男性から「乗っていくかい?」と声をかけられた。男子児童が「大丈夫です」と答えると、車はそのまま標津方面へ走っていった。男性の年齢は不明(児童から見て、お父さんかおじいさんくらいとの事)

『しべつ健康ポイント事業』

〜対象事業に遺漏なき様に〜

**問** 介護予防体操『いきいき百歳体操』の効果的な取り組みにより介護保険料が減額となった標津町は、本年4月より、町民の健康診断や運動関係事業参加への切っ掛けづくり・参加者の増加の推進を図り『しべつ健康ポイント事業』を開始した。公平を期す事を前提とし、対象事業に遺漏なき様、推進願いたい。見解を質す。

**答 町長** 本年が試行期間初年度であり、主に、町主催及び管掌の事業に限定して発進した。今後、町民の意見を聞き、ポイント対象事業を再考し、町民各位の健康増進に寄与する事業として推進する。

『UD書体』の採用を!

【障害者差別解消法に準拠し】  
分かりやすく伝えるために...

**問** 「障害者差別解消法」に準拠し、自治体においては、行政情報を、教育現場では、教材の内容を誰にでも、「分かりやすく」伝えなければならぬ。UD書体の採用を促す。

**答 副町長** 今後のパソコン更新事業により、OSがウィンドウズ10にアップする事を機会にして「行政情報」の「分かりやすさ」を追求し、UD書体の活用を考慮する。

**答 教育長** 教科書選定ICT教材、各種プリント等に、文字・図表及び画像に、「見やすさ」「分かりやすさ」を追求し、「学びの環境づくり」を目指して行く。

※ ユニバーサルデザイン【UD:Universal Design】：障害の有無に関わらず、誰もが無理なく利用できる設計・デザイン

# 常任委員会の動き

## 町内行政視察研修



●「あおぞら」にて大木園長より説明を受ける委員

●「にじいろ」にて盛園長より説明を受ける委員



- ① 認定こども園2園の現況視察
- ② 「北標津地区町内会館(仮称)」建設予定地の現地視察
- ③ サーモンパーク屋外トイレの現地視察

文教

福祉

建設

文教

建設

平成30年4月25日(水)に右記①～③の行政視察研修を実施した。

標準認定こども園「あおぞら」と川北認定こども園「にじいろ」を視察し、それぞれ、大木園長と盛園長・佐々木主幹より両園の現況報告を受けた。町の「政策パッケージ」の効果で、0歳児～3歳児の入園率が高まり、両園共に就園児数が増加した。**参考 参照**

その反動として、保育輸が不足気味であるとの報告があった。

### 認定こども園2園の現況視察

平成30年4月25日(水)に右記①～③の行政視察研修を実施した。

#### 参考

こども園入園状況  
平成30年4月10日現在

● 人数は学齢年齢で区分

**政策パッケージ**

- ・平成26年度より幼稚園無料化(4,5歳)
- ・平成27年度より3歳以上無料、3歳未満幼児軽減(国基準の1/4)
- ・平成29年度より満6カ月以上児受け入れ

園名	園児数						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
標津認定こども園	2	17	19	23	28	24	113
川北認定こども園	1	2	8	16	18	16	61
園児数計	3	19	27	39	46	40	174
①標津地区人数	36	36	28	26	29	26	181
②川北地区人数	11	9	18	16	17	15	86
町全体人数(①+②)	47	45	46	42	46	41	267
H30.4.10 就園率(%)	6.4	42.2	58.7	92.9	100.0	97.6	65.2
H29.5.1 現在就園率(%)	10.3	33.3	61.0	92.7	100.0	100.0	66.4
H28.5.1 現在就園率(%)	0.0	27.8	47.4	100.0	95.5	100.0	61.8
H27.5.1 現在就園率(%)	3.2	24.3	52.6	87.0	100.0	100.0	65.4
H26.5.1 現在就園率(%)	8.1	20.0	39.5	57.9	97.7	100.0	55.3



『西北標津集落センター』  
昭和54年建設 71.28㎡ (21.56坪)

老朽化した「北標津林業センター」・「北標津寿の家」と「西北標津集落センター」を統合し、平成17年3月に閉校となった旧北標津小中学校跡地に、「北標津地区町内会館(仮称)」として建設される事になり、建設予定地の現地視察を田中議長同行の下実施した。

予定地は、北標津神社の近接地でもあり、地域住民にとって

### 「北標津地区町内会館(仮称)」建設予定地の現地視察

は、思い出深い場所に、新たななる「コミュニティ施設」の誕生となる。



『北標津林業センター』  
昭和52年建設 299.04㎡ (90.46坪)  
内、「北標津寿の家」128.54㎡ (38.8坪)併設

#### サーモンパーク屋外トイレの現地視察

休館期間を活用して標津サーモンパーク内の屋外トイレが、「白」を基調として明るく、クリーンに改修された。

総務

経済

サーモンパーク屋外トイレ・  
サーモン科学館を視察

4月24日(火)、サーモンパーク屋外トイレの改修工事が終了したことから、現場視察し担当所管の商工観光課より説明を受けた。

視察後の取りまとめの中で各委員から

- (1)トイレ設備は良いが外壁の改修について
  - (2)サーモンハウスの集客について
  - (3)トイレの看板を目立つ様  
等の意見が出された。
- これを受けて5月16日(水)に委員会を開催し  
町からの説明を求めた。
- 説明内容は
- (1)平成30年度サーモンパーク改修計画概要
  - (2)サーモン科学館入館者、入館料収入状況
  - (3)サーモンハウス売り上げ等資料



改修されたトイレ



市村館長より館内の説明

サーモン科学館入館者の状況

(単位:人)

月別入館者数	29年度	28年度	前年比		目標値	比較
4月	2,702	2,332	370	115.9%	3,000	-298
5月	6,368	6,764	-396	94.1%	5,500	868
6月	4,160	4,284	-124	97.1%	4,500	-340
7月	5,404	5,931	-527	91.1%	5,500	-96
8月	11,413	11,036	377	103.4%	10,500	913
9月	7,058	7,473	-415	94.4%	8,500	-1,442
10月	5,583	5,906	-323	94.5%	7,000	-1,417
11月	2,324	1,720	604	135.1%	2,500	-176
12～2月	1,659	1,974	-315	84.0%	1,500	159
3月	1,980	1,933	47	102.4%	1,500	480
合計	48,651	49,353	-702	98.6%	50,000	-1,349

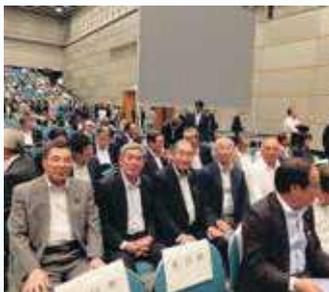
# 研修会報告

平成30年度 北海道町村議会議員研修会

7月3日 於：札幌コンベンションセンター

総務経済常任委員会

研修内容： ●加来 耕三氏 による講演  
●岩井 奉信氏



●開会前の参加議員

平成30年度の北海道町村議会議員研修会が、7月3日に札幌コンベンションセンターにて開催され、田中議長以下、総務経済常任委員会委員が参加した。

この研修会は、北海道町村議長会が主催、公益財団法人北海道市町村振興協会が後援となり、町村議員の資質向上の為、毎年7月に開催され、標津町議会では、二つの常任委員会が交互に参加している。

## 北海道町村議会議員研修会が

## 札幌市で開催！

### 講演

講師

歴史家・作家

●加来 耕三氏

プロフィール

1958年10月

大阪市生まれ 59才

奈良大学文学部史学科卒業

奈良大学文学部研究員を務め、その後大学・企業の講師を務めながら作家活動を行っている。

【主な著書】

『日本史は「嫉妬」

でほぼ説明がつく』

(方丈社)

『失敗と成功の日本

史』(滋慶出版)

『坂本龍馬事典(虚

構と真実)』(東京

堂出版)

『勝海舟と坂本龍馬』

(出版芸術社) ほかも

数

〈テーマ〉

「明治維新から150年、現在そして未来を考える」



加来講師

講師

日本大学法学部教授

●岩井 奉信氏

プロフィール

1950年8月

東京都生まれ 67才

日本大学法学部法律学科卒業

慶応義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。

常盤大学人間学部専任講師、助教を経て教授。2000年より現職。

政治家の政治資金・国会活動に詳しい政治学者。

【主な著書】

『立法過程』(東京大学出版社)

『「政治資金」の研究―利益誘導の日本の政治風土』(日本経済新聞社) ほかも数

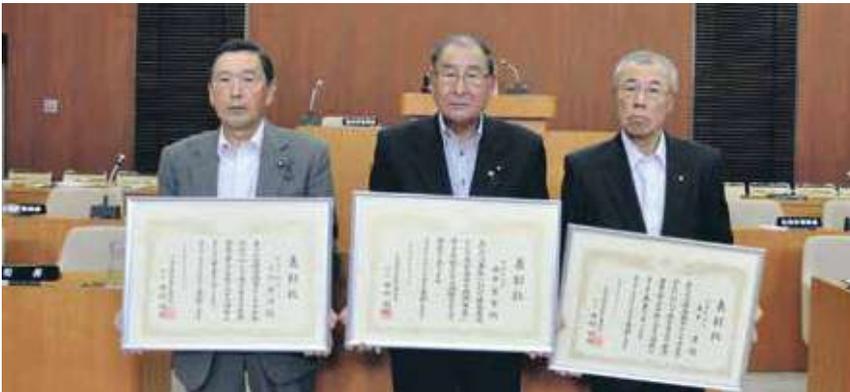
〈テーマ〉

「現代日本政治と政局のゆくえ」



岩井講師

## 田中孝幸議長・小川悠治副議長・木下 孝議員が 北海道町村議会議長会から表彰



表彰された3議員

北海道町村議会議長会第69回定期総会において、田中議長は議長として7年以上・小川副議長と木下議員は議員として、15年以上と町村自治の振興発展に永年尽力されたとして自治功勞者表彰を受け、今定例会の中で伝達された。



総会の様子

## 根室地方 森林・林業・林産業 活性化推進議連が総会

根室管内森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協会の定期総会が6月29日中標津町役場にて開催され、流域内森林・林業・林産業の「振興施策」「情報交換」「地本産材の需要拡大」「予算拡大に向けた要請活動への取組」などの事業計画が決定された。なお、中標津町からは、役員として大垣議員、石橋議員、南議員、山崎（英）議員が留任となった。

## 道立林業大学校を 根室管内への誘致に向け 期成会が講演会

5月30日中標津町にて、北海道が平成32年度の開校を目指している、北海道立林業大学校を中標津町への誘致に向け釧路・根室管内から160名が参加し講演会が開催された。講演は、「日本一の林業大学校を目指して」として、長野県林業大学校の、参事兼教授の武田雅宏氏で、その後、中標津町長を含む3氏の意見交換が行われた。



武田雅宏氏の講演

